



タンタン神戸で年越し

コロナ影響、返還協議進まず

中国からの貸与期限が過ぎている神戸市立王子動物園（同市灘区）のジャイアントパンダ「タンタン（旦旦）」（雌、25歳）の帰国が、来年1月以降になることが確実になった。返還に向けた中国側との協議が進んでいない上に、渡航前には約1カ月間の検疫が必要のため、タンタンは神戸で21回目の年明けを迎える。

王子動物園

タンタンは2000年7月、繁殖研究や阪神・淡路大震災の被災者を励ます目的で中国から借り受けた。2代目「コウコウ（興興）」

神戸での越年が確実になったタンタン＝神戸市灘区王子町3、王子動物園

が10年に死んでからは同園唯一のパンダに。2度の契約延長を経て、今年7月15日に貸与期限を迎えたが、新型コロナウイルス禍で直行便が運休し、返還時期は未定のままだ。

日中両政府は11月30日、制限してきたビジネス関係者ら向けビザの申請受け付けを再開。同園は以前から中国側に日程の調整を打診しているが、協議は進展していない。

また、家畜伝染病予防法に基づいて出国前に約1カ月間の検疫措置が求められるため、年内の帰国は不可能に。ネット上では「クリスマスもお正月も神戸で過ごせるんだ！」と歓迎する書き込みも見られた。

土日曜、祝日と年末年始（12月29日～1月1日は休園）の観覧は感染対策のため事前予約制。同園 ☎078・861・5624

（初鹿野俊）

（C）神戸新聞社 無断転載 複製および頒布は禁止します。

きじ なか か

①記事の中からカタカナをさがして書きましょう。

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

--	--	--	--	--	--

（旦旦）

2代目

--	--	--	--

（興興） 新型

--	--	--	--	--	--	--	--

 禍

--	--	--	--

 関係者ら向け

--	--

 の申請受け付け

--	--	--

 上では

--	--	--	--	--	--

 もお正月も

よ かんじさが まる かも

②読める漢字を探したら、丸で囲みましょう。